結果の要約

1. 平成 年 月 日現在の京都府の人口は 人で、前回調査の 年に比べ 人、％増加している。

2. 人口を市町村別にみると、京都市が 人（府人口の ％）で最多多く、次いで宇治市が 人（同 ％）、亀岡市が 人（同 ％）となっており、最も少ないのは笠置町の 人（同 ％）となっている。

3. 人口を男女別にみると、男性が 人、女性が 人で、女性が 人多く、人口性比（女性 人に対する男性の数）は、平成 年の から と低下している。

4. 人口を年齢別にみると、歳未満人口は 人（府人口の ％）、～ 岁人口は 人（同 ％）、歳以上人口は 人（同 ％）となっている。これを平成 年と比べると、それぞれ、ポイント低下、ポイント低下、ポイント上昇している。

5. 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が ％、女性が ％、未婚率は男性が ％、女性が ％となっている。

6. 府内に在住する外国人は 人で、平成 年に比べ 人、％増加している。

7. 京都府の一般世帯数は 世帯で、平成 年に比べ 世帯、％増加している。また、一般世帯のうち 人世帯は 世帯（一般世帯の ％）と最も多くなっている。

8. 世帯の家族型をみると、核家族世帯は 世帯（一般世帯の ％）で、このうち夫婦のみの世帯は 世帯（同 ％）、夫婦と子供から成る世帯は 世帯（同 ％）となっている。また、単独世帯は 世帯（同 ％）となっている。

9. 歳以上親族のいる一般世帯は 世帯（一般世帯の ％）で、このうち「一人暮らし高齢者」 歳以上の単独世帯は 世帯（同 ％）、高齢夫婦世帯（注）は 世帯（同 ％）となっている。

（注）夫が 歳以上、妻が 歳以上の夫婦1組の一般世帯

住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は ％で、平成 年に比べ ポイント上昇している。また、住宅に住む一般世帯の 世帯当たり延べ面積は、平成 年の m²から m²と広くなっている。
図1 京都府の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成20年）

図2 京都府の年齢（各歳）、男女別人口（平成7年・20年）